

「外国人のための日本語講座の取り組み」

長野市立中部公民館

1 外国人のための日本語講座開設のきっかけ

平成10年(1998年)に冬季オリンピックが長野市で開催されました。当時、オリンピック開催に伴って、世界40数カ国、約4千人の外国人が長野市に居住し、仕事に携わる人、日本人と結婚された人、家族を母国に残して市内で働く人、親類縁者を頼って永住する人や留学生で、激増の状況を呈していました。

中部公民館は長野市の中心市街地に位置しており、外国人の増加傾向が顕著に表われていました。

地域住民との接触の機会が増すにつれて、日本語の読み書き、会話はもとより、日本の生活習慣に馴染めずに日常生活に不便を感じていたり、様々な要因から家庭内に限らず地域から孤立を余儀なくされている外国人が目につくようになり、地域住民の話題に上がるようになっていました。

このような地域の持つ特殊性と課題を受け止めて、外国人と地域を結ぶ心の居場所づくりを志向した講座を開設して、以来16年目を迎えています。

2 日本語講座の具体的な内容

(1) 開 講 平成10年(1998年)9月

(2) 受講資格 長野市内在住の外国人(年度経過の中で近隣市町村まで拡大)
年間を通じて、年度途中でも受講希望者を随時受付

(3) 講座内容

① 初歩的な日本語の読み書きから日本語検定まで(受講生の要望・力量により、平仮名に限らず漢字・カタカナ)

② 日本文化理解のための体験学習、日本独自の地域行事体験

③ 長野市を中心にした地域・周辺施設の見学・研修等(H25年度 戸隠・飯綱戶外学習)

(4) 開講期間 4月から翌年3月まで40回開催 毎週火曜日10時~11時30分

受講料 無料

指導者 日本語指導者養成講座修了者7名をボランティアとして要請

(5) 学習方法 日本語の習得状況に応じて、出身国を問わず数人のグループを構成

各指導者が選択した教材をもとにしての個人学習

個々の能力や生活環境に応じて、日常会話、文章の読解や作成、平仮名、カタカナ簡単な漢字のカリキュラムでの学習

3 目的(効果)

個々の能力に応じたカリキュラムでの学習は、家庭内・地域の中で、ともすると孤独になりがちな生活にあって、交流の場であり、心の開放の一助となる安心できる居場所となっています。

また、初歩的な日本語の習得に留まらず、日常の生活上の悩みや喜びを仲間や指導者に披露しあうことで、心のよりどころとなっているという成果をあげています。

4 周知方法

- (1) 広報ながの4月号掲載
- (2) チラシ作成市関連施設に設置（生涯学習センター、長野図書館、しなのき、82プラザ等）
- (3) 長野市HP学習情報掲載
- (4) 生涯学習だより掲載（年2回発行）
- (5) 公民館報掲載（年2回発行）

5 課題

- (1) 天候や季節により受講者数に偏りがあり、特に冬期間は著しく減少してしまう。毎週何人が受講するのかわからず、生徒が少ない時は講師に帰ってもらうこともある。
- (2) 逆に年度当初は受講希望者が多く、ボランティア講師が足りない状況。
- (3) 公民館の事業エリア内のふれあい福祉センターやもんぜんふら座でも同様の講座が開講されていて、複数の講座を掛け持ちで受講している人もいます。
現在のところ他施設の連携がとられていないため、コーディネーターの必要性を感じています。

受講生募集!



JAPANESE
LESSON

外国人の
ための
日本語講座

市内にお住まいの外国人の方なら無料で学べます。

長野市立中部公民館

毎週火曜日 AM10時~11時30分

♪ 楽しみながら学びましょう ♪

- ・ 日本語の「読み・書き・会話」の学習
- ・ 日本の文化の学習
- ・ 日本の習慣や生活様式の学習

♪ 初歩的な日本語から日本語検定にチャレンジ 😊

申込

中部公民館（長野市緑町 1596-13）TEL 234-1883

